

研究教育業績（2014-2018 年度）

I. 研究業績

1. 主な発表論文

[原著論文]

- 1) 大山良治, 医療情報システムと医療の質, *薬剤疫学*, **21(1)**, 45-50 (2016)

[総説]

- 1) 大山良治, 薬剤疫学の基礎を理解し EBM の実践を. *RAD-NEWS*, **27(1)**, 12-14 (2016).

[著書]

[その他]

2. 主な学会発表

[国際学会]

[国内学会]

一般発表

- 1) 藤田恵梨子, 脇田紀子, 大山良治, 医療情報から見える地域の健康課題, 第44回日本診療情報管理学会学術大会, 9月, 新潟 (2018).
- 2) 大友美沙, 脇田紀子, 大山良治, 櫻田 誓, 「音」が患者に与える影響, 第43回日本診療情報管理学会学術, 9月, 札幌 (2017).
- 3) 野々村尚, 松崎雄介, 長村佳奈, 宮川雄樹, 依光澄玲, 渡辺靖也, 脇田紀子, 大山良治, 地域医療における介護予防について, 第42回日本診療情報管理学会学術大会, 10月, 東京 (2016).
- 4) 振角知広, 矢野愉子, 西田龍平, 西塚友里絵, 大山良治, 脇田紀子, 大泉 寛, 病院経営における診療情報管理士の役割についての考察, 第41回日本診療情報管理学会学術大会 (学生セッション), 9月, 岡山 (2015).
- 5) 大山良治, 有末友三子, 脇田紀子: 医療の質を示す QI (Quality Indicator) 改善に関する研究. 第22回クリニカルファーマシーシンポジウム, 6月, 東京都 (2014).
- 6) 近藤 誠人, 安蒜 咲, 嶋崎 祐己, 洪 峻翰, 羽鳥 有貴, 斎藤 由貴子, 松本 ちひろ, 大山 良治, 脇田 紀子: 携帯電話の使用可能から見えてくる未来の展望. 第40回日本診療情報管理学会学術大会 (学生セッション), 9月, 盛岡 (2014).

3. その他特筆すべき研究業績

特別講演

Ⅱ. 教育業績

1. 担当授業科目

2013 年度～2018 年度 医療統計学 (3 年)

2014 年度～2018 年度 医薬品の適正使用 (2 年)

2015 年度～2018 年度 薬剤疫学 (6 年)

2016 年度～2018 年度 診療情報管理実習 (3 年) 9 コマ

2013 年度～2018 年度 診療情報管理士試験対策 (3 年) 9 コマ

2. その他特筆すべき教育業績

2014 年度～2018 年度 病院実習プレ教育 (3 年) 9 コマ